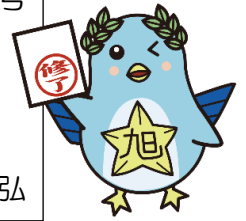




北海道旭川聾学校だより 3月号

# 希望の鐘

2026・3・24 発行 文責：門眞 義弘



## 「大きな夢をもって羽ばたけ！」

北海道旭川聾学校長 門眞 義弘

3月18日に令和7年度の卒業証書授与式を執り行い、幼稚部修了生1名、小学部卒業生3名、中学部卒業生3名に卒業証書（修了証書）を授与しました。とりわけ、本校中学部を巣立つ生徒のことを思うと、様々なことが想起され、思いが湧き上がります。

私が本校の教頭を務めた2年間は、中学部3年の3人は幼稚部の年長さんから小学部1年生になった時代でした。小学生になった3人は初々しく、教科書で勉強をはじめたばかりで新しいことを沢山吸収している最中でした。私が校長として赴任した4月には立派な中学3年生になっており、すっかりお兄さんとお姉さんでした。

女子は寄宿舎生活を幼稚部から12年間続け、頑張ってきました。遠隔地にある自宅から通うことは困難であるための決断でしたが、お父様お母様が決断したときの心中をお察ししますと大変な決断だったと思います。寄宿舎生活をするようになった本人も、楽しいことも多かったと思いますが、我慢したり寂しかったりしたときもあったことでしょう。また、男子1名は比布町からの通学でしたので通学自体に苦勞したことも多かったのではないかと想像します。保護者の送り迎えのサポートも中学部2年まで続き、両親の負担を減らそうと自力通学を決めたと話してくれました。今では当たり前のように自力で登下校し、偉いと思います。よく頑張りました。そして、もう一人の男子は、地域の中学校に通うことにチャレンジしましたが、本校の良さを再認識し、帰ってきてくれました。それも一つの学びになったと思います。大変な思いをしたこともあったでしょうが、これからの糧になってくれることでしょう。

4月から小樽市銭函にある北海道高等聾学校で新しい学びをスタートさせる3人を私たちは応援し続けます。我が子を信じ、本校を信じ、お子様の送り迎えなどで学びを支えてくださった保護者の皆様には、敬意を表します。本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

さて、本校の卒業生の進路も多様になりました。一昔前には考えられなかった職種や進学を果たす方がいます。卒業生でなくても、聴覚に障がいを持ち様々な資格を取得し、活躍している方がいます。例えば、本校の乳相・幼稚部の保護者講座の講師をしてくれた大手企業に勤める卒業生、職場で手話を広め医療事務として働く卒業生など様々です。また、旭川聾学校サポーターズには、一般企業や公務員として勤務し、本校の教育活動を支えようとボランティアに登録してくれている志の高い卒業生もいます。また、卒業生ではありませんがSAJ（全日本スキー連盟）の指導者資格をもち、小中のスキー学習の補助としてボランティアをしてくれた聴覚障がいのサポーターズの方もいました。本当にありがたいですし、素晴らしいことだと感じています。

子どもたちはきっと私たちが知らない未来を切り開いてくれることでしょう。可能性は無限大なのです。

卒業証書授与式を終えた本日、卒業生には是非、大きな夢をもってその夢を実現すべく、まっすぐ前へ進んで行ってほしいと願っています。「Go Straight !!」です。

# 転出者挨拶



「出会いに感謝！」

高村 理絵 (たかむら りえ)

子どもたちに丁寧に言葉を教える学校は、聾学校だけだと感じます。三年間、皆さんと共に過ごしながら、言葉をとおして心が繋がる大切さを感じました。毎日が楽しく幸せでした。皆さんと出会えたことに心から感謝しています。ありがとうございました。4月からは、言語聴覚士を目指して勉学に励みます。



「伝えることの大切さ」

佐藤 友二良 (さとう ゆうじろう)

旭川聾学校の生活の中で、子どもたちとの「会話」が大きな財産となりました。目を見て、手話や指文字を使い、表情を豊かに話すことの必要性を肌で感じ、改めて言葉の価値を振り返る機会となりました。

素敵な出会いと学びに、心より感謝申し上げます。



「忘れられない出会い」

三上 紗弥香 (みかみ さやか)

手話も分からない中で始まった聾学校での生活でしたが、子どもたちや先生方と過ごす時間は温かく、気が付けば楽しい思い出でいっぱいになりました。離れることがとても名残惜しいですが、ここでの出会いと経験を胸に、これからも歩んでいきたいと思えます。温かい出会いに心より感謝申し上げます。



「お世話になりました。」

吉田 渚 (よしだ なぎさ)

母校で働くことができとても幸せな9年間でした。通学生とは、廊下で会った時など元気に挨拶や話をしてくれました。舎生とは、寄宿舎でたくさんの時間を共に過ごしました。皆さんのおかげで毎日楽しく過ごすことができました。いつか、成長した皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



「皆の声を支えられて」

小山 智か子 (こやま ちかこ)

子ども達の「おいしいよ!」「苦手だけど頑張って食べたよ!」の声、そして保護者の皆様からの「レシピ教えてください!」の声が嬉しくて、最後まで頑張ることができました。旭川聾学校で過ごした日々は、私の宝物です。たくさん支えていただき、本当にありがとうございました。



**年度初めの学校行事予定** (詳細は 18 日配付文書を御覧ください。)

4月 8日 (水) 着任式・始業式・入学式 (11:00 下校)

4月 24日 (金) ~ 5月 2日 (土) 懇談会期間

5月 2日 (土) 第一回参観日、PTA 総会・後援会総会

